SPARX

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2008年11月12日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（11月10日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型）

第12期 運用報告書（全体版）

（決算日 2020年11月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)』は、このたび、第12期の決算を行いました。
ここに第12期の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号　品川シーズンテラス
＜ お問い合わせ先 ＞
リテールBDマーケティング部
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：https://www.sparx.co.jp/

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期(2016年11月10日)	23,197	0	△13.9	899.1	△ 9.7	0.0	86.1	31
9期(2017年11月10日)	29,288	0	26.3	1,307.9	45.5	0.0	84.8	39
10期(2018年11月12日)	25,617	0	△12.5	1,162.3	△11.1	0.0	85.9	32
11期(2019年11月11日)	27,451	0	7.2	1,269.8	9.3	0.0	90.4	33
12期(2020年11月10日)	27,973	0	1.9	1,440.0	13.4	0.0	94.6	27

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注3) MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除くアジア太平洋地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

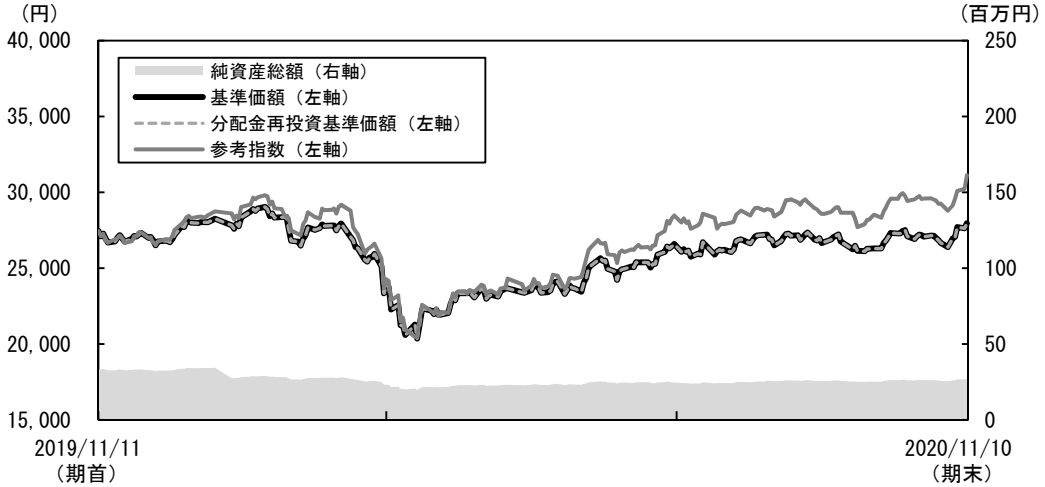
年月日	基準価額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2019年11月11日	27,451	―	1,269.8	―	0.0	90.4
11月末	27,324	△ 0.5	1,265.3	△ 0.4	0.0	91.4
12月末	28,259	2.9	1,329.7	4.7	0.0	91.7
2020年 1月末	26,810	△ 2.3	1,271.9	0.2	0.0	88.7
2月末	26,320	△ 4.1	1,259.9	△ 0.8	0.0	87.8
3月末	21,976	△19.9	1,020.4	△19.6	0.1	88.3
4月末	23,672	△13.8	1,097.2	△13.6	0.0	88.3
5月末	23,678	△13.7	1,124.7	△11.4	0.0	88.4
6月末	25,048	△ 8.8	1,214.4	△ 4.4	0.0	94.8
7月末	26,213	△ 4.5	1,290.7	1.6	0.0	93.8
8月末	27,182	△ 1.0	1,357.0	6.9	0.0	91.4
9月末	26,281	△ 4.3	1,305.0	2.8	0.0	90.8
10月末	26,676	△ 2.8	1,353.9	6.6	0.0	94.5
(期末)						
2020年11月10日	27,973	1.9	1,440.0	13.4	0.0	94.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■ 運用経過

1）基準価額等の推移 （2019年11月12日～2020年11月10日）

基準価額は期首に比べ1.9％（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第12期首： 27,451円
第12期末： 27,973円（既払分配金0円）
騰 落 率： 1.9％（分配金再投資ベース）

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。
※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
※ 参考指数は期首（2019年11月11日）の基準価額に合わせて指数化しております。

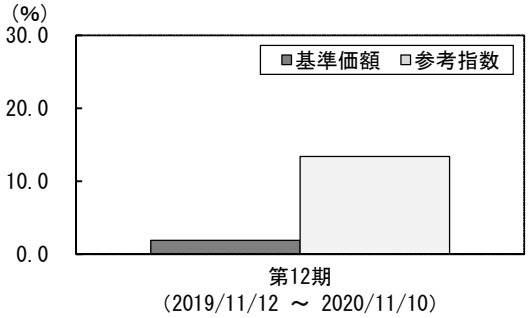
2）基準価額の主な変動要因

台湾、香港、韓国市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。一方、香港ドルが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

3）ベンチマークとの差異

※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

（アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式）

新型コロナウイルス感染症が中国のみならず国外にまで拡大し、特に3月以降はとりわけ欧州と米国では驚異的な速度で拡大しました。前例のないロックダウン（都市封鎖）とソーシャルディスタンス（社会的距離の確保）施策の実施により、経済活動は深刻な打撃を被りました。生産活動や事業活動が急速に停滞し、消費も落ち込みました。世界の株式市場と同様、アジア株式市場も数十年に一度の急落となりました。

しかし4月になると、新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化傾向が見られたこと、世界各国の政府と中央銀行が大規模な財政政策および金融緩和政策に踏み切ったことから、株式市場に多少の安心感がもたらされ、一転し大幅に上昇しました。

その後中国では、企業の生産活動が再開したこと、新型コロナウイルスの感染拡大が一段落したことから、景気回復の兆しが見られました。10月のゴールデンウィーク（黄金周）には6億人以上が国内を旅行し、国内消費が反発しました。新型コロナウイルスの感染状況が改善し、複数のアジア諸国は国境を超えた活動を再開するべく「旅行バブル」に備えていますが、国境の完全な再開放にはまだまだ時間を要するでしょう。「コロナ危機」によってオンライン取引が拡大し、医療関連サービスの需要が増大したため、ニューエコノミー銘柄（電子商取引、オンラインゲーム、テクノロジー、医療）が上昇しました。

（国内債券・短期金融市場）

2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したため、国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなりました。

■ ポートフォリオ

＜ スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型） ＞

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド（ケイマン籍証券投資法人）」と「スパークス・マネー・マザーファンド（国内証券投資信託）」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行いました。

＜ SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド ＞

アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

（主なプラス要因）

中国の大手インターネット企業であるTencent Holdings（中国／コミュニケーション）は、中国経済の減速を尻目に広告収入が好調に推移したため上昇しました。新型コロナウイルスによる危機は、オンライン医療やオンライン教育の普及が加速するきっかけとなるかもしれません。Tencentが運営する「WeChat」などのようなオンラインプラットフォームの多くが「オンライン診療サービス」を提供しているため、「新型コロナウイルス感染を恐れ病院に行きたくない人」などが在宅診療を受けることが出来ます。また、中国全土で学校が閉鎖されていましたが、一部の学生は「オンライン授業」によって学習を継続しています。こうした「新しいトレンド」によって、新たな投資機会が生まれる可能性があります。

Taiwan Semiconductor Manufacturing Company（台湾／情報技術）とMediatekInc（台湾／情報技術）は、5Gの普及（スマートフォンと基地局がいずれも成長）、クラウドコンピューティング、IoT（モノのインターネット）といったメガトレンドの加速を受け、好調な決算発表を行い上昇しました。Taiwan Semiconductor Manufacturing Companyの成功要因は、三つの戦略（①技術的優位の維持、②他社より優れた製造方法の採用、③顧客の信頼獲得）をとったことにあります。小型で高性能な半導体チップを製造する上での技術的障壁はますます高くなっており、他社の参入を阻む高い壁となっています。

（主なマイナス要因）

Sydney Airport（オーストラリア／資本財）は、ロックダウンによって空路の交通量が激減したため、売上高の落ち込みが甚大で、短期的な配当への悪影響が予想されたため下落しました。しかし、財務体質が強固であること、市場をほぼ独占していること、政府からの支援があることを踏まえると、長期的なキャッシュフローや配当生成能力は依然として損なわれていないと、当ファンドは考えています。

インフラ建設の中国国営企業である、China State Construction International（香港／資本財）は、中国事業の成長を支えるために多額の資本が必要なことが懸念され下落しました。同社のキャッシュフローおよび負債比率は過去数年間で悪化しています。しかし、経営陣はそうした懸念を理解しており、キャッシュサイクルの比較的短いプロジェクトに入札し、成熟したプロジェクトを売却することで、キャッシュフローの管理改善に積極的に取り組んでいます。経営陣は正しい方向に進んでいると考えており、近い将来の財務改善を予想しています。

＜ スパークス・マネー・マザーファンド ＞

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当期間の運用につきましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

＜ スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型） ＞

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド（ケイマン籍証券投資法人）」と「スパークス・マネー・マザーファンド（国内証券投資信託）」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

＜ SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド ＞

引き続き、アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

＜ スパークス・マネー・マザーファンド ＞

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当ファンドは中長期的な成長を図ることを目標として運用を行っていることから、分配金のお支払いは見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産内に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

（単位：円　1万口当たり・税込み）

項　　目	第12期 （2019年11月12日～ 2020年11月10日）
当期分配金 （対基準価額比率）	－ （－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	19,518

（注1）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注2）該当欄に数値がない場合は「－」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。
（注3）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

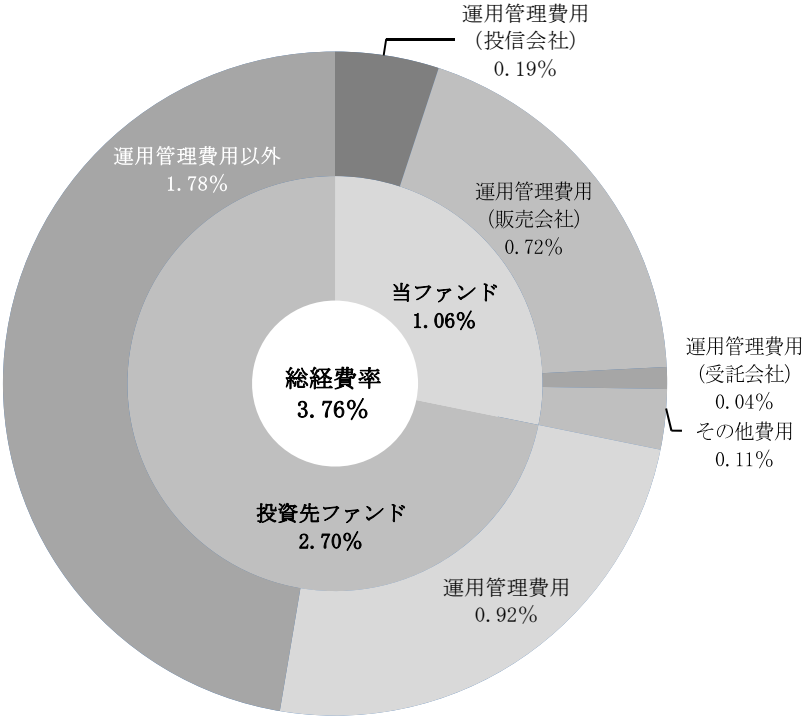
項目	当期 2019年11月12日～2020年11月10日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	242円	0.939%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	（ 48）	(0.186)	・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 184）	(0.714)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	（ 10）	(0.039)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	28	0.109	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 28）	(0.109)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 0）	(0.000)	・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合計	270	1.048	
期中の平均基準価額は25,787円です。			

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注2）各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注3）各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
（注4）各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。（親投資信託を除く）

（参考情報）

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1 口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は 3.76%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.76%
①当ファンドの費用の比率	1.06%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.92%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.78%

（注）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買および取引の状況 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

投資証券

銘柄名	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.394	3,286	0.88	8,006

（注1） 金額は受け渡し代金。
（注2） 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

該当事項はありません。

■ 主要な売買銘柄 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

投資証券

買付			売付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
	千口	千円		千口	千円
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.394	3,286	SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.88	8,006

（注1） 金額は受け渡し代金。（償還分は含まれておりません。）
（注2） 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種類	当作成期		
	買付額	売付額	当作成期末保有額
	百万円	百万円	百万円
投資証券	3	8	25

（注1） 単位未満は切り捨て。
（注2） 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。
（注3） 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 （2020年11月10日現在）

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		前期末	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド		3	2	25,614	94.6
合計	口数・金額	3	2	25,614	－
	銘柄数＜比率＞	－	－	1銘柄	〈94.6%〉

（注1）合計欄の〈　〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2)親投資信託残高

種類	前期末	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
スパークス・マネー・マザーファンド	10	10	10

（注1）口数・評価額の単位未満は切り捨て。
（注2）当該マザーファンドの当期末の受益権総口数は、9,994千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 （2020年11月10日現在）

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 （2020年11月10日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	25,614	94.1
スパークス・マネー・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	1,593	5.9
投資信託財産総額	27,217	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2020年11月10日現在）

項目	当期末
(A) 資産	27,217,834円
コール・ローン等	1,592,866
スパークス・マネー・マザーファンド（評価額）	10,908
投資証券（評価額）	25,614,060
(B) 負債	133,923
未払解約金	2,320
未払信託報酬	117,868
未払利息	4
その他未払費用	13,731
(C) 純資産総額（A－B）	27,083,911
元本	9,682,330
次期繰越損益金	17,401,581
(D) 受益権総口数	9,682,330口
1万口当たり基準価額（C／D）	27,973円

〈注記事項（当期の運用報告書作成時では監査未了）〉

①期首元本額　12,314,362円
　期中追加設定元本額　1,539,003円
　期中一部解約元本額　4,171,035円

■ 損益の状況

当期　（自2019年11月12日　至2020年11月10日）

項目	当期
(A) 配当等収益	1,026,194円
受取配当金	1,028,319
支払利息	△ 2,125
(B) 有価証券売買損益	△ 64,982
売買益	554,035
売買損	△ 619,017
(C) 信託報酬等	△ 275,318
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	685,894
(E) 前期繰越損益金	876,215
(F) 追加信託差損益金	15,839,472
（配当等相当額）	(15,529,670)
（売買損益相当額）	(309,802)
(G) 合計（D＋E＋F）	17,401,581
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金（G＋H）	17,401,581
追加信託差損益金	15,839,472
（配当等相当額）	(15,529,670)
（売買損益相当額）	(309,802)
分配準備積立金	3,369,262
繰越損益金	△ 1,807,153

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項目		第12期
費用控除後の配当等収益額	A	750,876円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	－円
収益調整金額	C	15,529,670円
分配準備積立金額	D	2,618,386円
当ファンドの分配対象収益額（E=A＋B＋C＋D）	E	18,898,932円
当ファンドの期末残存口数	F	9,682,330口
1万口当たり収益分配対象額（G=E/F×10,000）	G	19,518.99円
1万口当たり分配金額	H	－円
収益分配金金額（I=F×H/10,000）	I	－円

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	－円

■ お知らせ

該当事項はありません。

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型）が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

＜参考情報＞

SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基準通貨	日本円
運用方針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主な投資制限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決算日	12月末日
分配方針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管理運用会社	SPARX Asia Capital Management Limited
投資運用会社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受託会社	HSBC Trustee (Cayman) Limited
受託会社代理人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited
保管会社	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

（注）記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 （2020年11月9日現在）

外国株式等

銘柄		株数	評価額 外貨建金額	評価額 基準通貨建金額	業種等	備考
（アラブ首長国連邦市場）		百株	千UAEディルハム	千円		
First Abu Dhabi Bank PJSC		710	835	23,543	主要銀行	
小計	株数・金額	710	835	23,543		
	銘柄数＜比率＞	1銘柄	－	＜ 1.2%＞		
（オーストラリア市場）		百株	千豪ドル	千円		
Aristocrat Leisure Ltd		270	879	66,255	パッケージ・ソフトウェア	
CSL Ltd		32	986	74,295	バイオテクノロジー	
Transurban Group Unit		732	1,056	79,590	その他輸送	
Treasury Wine Estates Ltd		279	251	18,935	アルコール飲料	
小計	株数・金額	1,313	3,172	239,075		
	銘柄数＜比率＞	4銘柄	－	＜12.7%＞		
（中国市場）		百株	千人民元	千円		
Kweichow Moutai Co Ltd A Shrs		16	2,788	43,881	アルコール飲料	
Yonghui Superstores Co Ltd A Shrs (SSC)		828	671	10,556	食品小売り	
小計	株数・金額	844	3,459	54,437		
	銘柄数＜比率＞	2銘柄	－	＜ 2.9%＞		
（香港市場）		百株	千香港ドル	千円		
AIA Group Ltd		1,266	10,419	139,177	生命・健康保険	
Alibaba Group Holding Ltd (HKSE)		131	3,802	50,781	インターネット販売	
CK Asset Holdings Ltd		630	2,400	32,063	不動産開発	
China State Construction International Holdings Ltd (HKSE)		3,703	2,025	27,053	建設・土木	
Guangdong Investment Ltd		2,180	2,756	36,808	コングロマリット	
HSBC Holdings Plc (HKSE)		352	1,227	16,386	主要銀行	
Haier Electronics Group Co Ltd		1,130	3,944	52,679	電化製品	
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd (HKSE)		153	5,933	79,256	投資銀行・ブローカー	
KWG Group Holdings Ltd		3,615	4,186	55,918	不動産開発	
KWG Living Group Holdings Ltd		1,888	1,174	15,685	不動産開発	
Sands China Ltd		804	2,452	32,756	カジノ・ギャンブル	
Tencent Holdings Ltd		167	10,396	138,864	インターネット・ソフトウェアサービス	
Zhejiang Expressway Co Ltd H Shrs		3,540	2,000	26,717	その他輸送	
小計	株数・金額	19,558	52,714	704,144		
	銘柄数＜比率＞	13銘柄	－	＜37.3%＞		
（インドネシア市場）		百株	千インドネシアルピア	千円		
Bank Central Asia Tbk (DMT)		876	2,752,830	20,274	地方銀行	
Bumi Serpong Damai Tbk		21,393	2,117,907	15,598	不動産開発	
Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk		15,369	4,426,272	32,598	主要通信	
小計	株数・金額	37,638	9,297,009	68,469		
	銘柄数＜比率＞	3銘柄	－	＜ 3.6%＞		

銘柄		株数	評価額 外貨建金額	評価額 基準通貨建金額	業種等	備考
（インド市場）		百株	千インドルピー	千円		
Bharti Airtel Ltd (NSI)		137	6,492	9,083	主要通信	
HDFC Bank Ltd (NSI)		151	20,290	28,386	地方銀行	
ITC Ltd (DMT) (NSI)		604	10,453	14,624	タバコ	
SBI Cards & Payment Services Ltd (NSI)		272	22,761	31,842	主要銀行	
小計	株数・金額	1,164	59,996	83,935		
	銘柄数〈比率〉	4銘柄	－	＜ 4.5%＞		
（韓国市場）		百株	千韓国ウォン	千円		
LG Household & Health Care Ltd		3	389,385	36,177	家庭用品・パーソナルケア	
Samsung Electronics Co Ltd		174	1,046,457	97,223	通信機器	
小計	株数・金額	176	1,435,842	133,400		
	銘柄数〈比率〉	2銘柄	－	＜ 7.1%＞		
（マレーシア市場）		百株	千マレーシアリンギット	千円		
Genting Malaysia		3,920	831	20,938	カジノ・ギャンブル	
小計	株数・金額	3,920	831	20,938		
	銘柄数〈比率〉	1銘柄	－	＜ 1.1%＞		
（フィリピン市場）		百株	千フィリピンペソ	千円		
Puregold Price Club Inc		3,534	14,436	31,048	食品小売り	
Universal Robina Corp		925	13,315	28,636	製菓業	
小計	株数・金額	4,459	27,751	59,684		
	銘柄数〈比率〉	2銘柄	－	＜ 3.2%＞		
（サウジアラビア市場）		百株	千サウジアラビアリヤル	千円		
Saudi British Bank (The)		110	262	7,229	地方銀行	
小計	株数・金額	110	262	7,229		
	銘柄数〈比率〉	1銘柄	－	＜ 0.4%＞		
（タイ市場）		百株	千タイバーツ	千円		
Advanced Info Service Pcl NVDR		510	9,129	30,978	無線通信	
小計	株数・金額	510	9,129	30,978		
	銘柄数〈比率〉	1銘柄	－	＜ 1.6%＞		
（台湾市場）		百株	千台湾ドル	千円		
Ememory Technology Inc		280	16,576	60,157	半導体	
MediaTek Inc		390	27,378	99,359	半導体	
Momo.com Inc		90	6,246	22,668	カタログ販売	
Poya International Co Ltd		160	9,728	35,304	専門小売	
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		820	37,597	136,445	半導体	
小計	株数・金額	1,740	97,525	353,933		
	銘柄数〈比率〉	5銘柄	－	＜18.8%＞		

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(米国 ADR 市場)		百株	千米ドル	千円		
New Oriental Education & Technology Group Inc Spon ADR (1 ADR Reps 1 Ord Shrs)		19	333	34,490	その他消費者サービス	
小計	株数・金額	19	333	34,490		
	銘柄数<比率>	1銘柄	−	< 1.8%>		
合計	株数・金額	72,162	−	1,814,255		
	銘柄数<比率>	40銘柄	−	<96.2%>		

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。
(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損　益　計　算　書

自　2019年11月9日
至　2020年11月9日

（単位：千円）

収益		
受取配当金		43,958
受取利息		17
解約差益		0
その他収益		0
	収益計	43,976
費用		
支払利息		0
受託会社報酬		27,159
監査報酬		4,268
源泉税		4,177
管理運営会社報酬		18,642
管理事務報酬		3,572
設立費償却		0
その他費用		2,877
	費用計	60,699
純投資損益		△16,722
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益		
投資有価証券売買損益		△25,356
為替差損益		△1,714
		△27,071
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減		
有価証券未実現純評価損益増減		97,195
為替未実現純評価損益増減		△17,016
		80,179
営業活動による純資産の純増減額		36,385

（注1）上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。
（注2）管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。

スパークス・マネー・マザーファンド

第 13 期

決算日　2020年11月10日

（計算期間：2019年11月12日～2020年11月10日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式（新株予約権証券を含みます。）への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額5%以内とします。
分配方針	決算日毎年11月10日（休業日の場合は翌営業日） 収益分配は行いません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号　品川シーズンテラス

＜ お問い合わせ先 ＞
リテールBDマーケティング部
電話：03-6711-9200（代表）
受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：https://www.sparx.co.jp/

■ 最近5期の運用実績

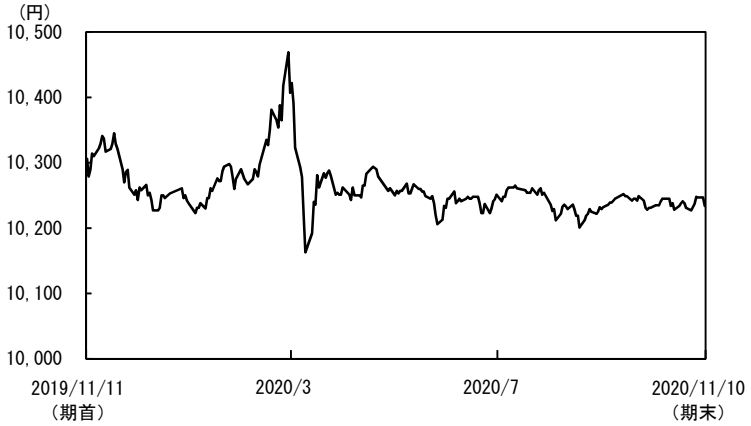
決　算　期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
9期(2016年11月10日)	10,143	0.2	99.4	10
10期(2017年11月10日)	10,141	△0.0	99.5	10
11期(2018年11月12日)	10,131	△0.1	99.4	10
12期(2019年11月11日)	10,306	1.7	99.1	10
13期(2020年11月10日)	10,234	△0.7	99.0	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年　月　日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期　首)	円	%	%
2019年11月11日	10,306	－	99.1
11月末	10,321	0.1	99.1
12月末	10,253	△0.5	99.1
2020年 1月末	10,294	△0.1	99.1
2月末	10,381	0.7	99.1
3月末	10,277	△0.3	99.1
4月末	10,290	△0.2	99.1
5月末	10,249	△0.6	99.1
6月末	10,238	△0.7	99.1
7月末	10,261	△0.4	99.1
8月末	10,212	△0.9	99.1
9月末	10,245	△0.6	99.0
10月末	10,231	△0.7	99.0
(期　末)			
2020年11月10日	10,234	△0.7	99.0

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額の推移



■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ 期中の売買及び取引の状況 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

該当事項はありません。

■ 利害関係人との取引状況等 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。
(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高
該当事項はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 （2019年11月12日から2020年11月10日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2020年11月10日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,994 千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	組入比率(うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	10,000	10,129	99.0	−	99.0	−	−
合計	10,000	10,129	99.0	−	99.0	−	−

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 単位未満は切り捨て。−印は組み入れなし。
(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種類	銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	第347回長期国債10年	0.1	10,000	10,129	2027/6/20
合計		−	10,000	10,129	−

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2020年11月10日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2020年11月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	10,129	99.0
コール・ローン等、その他	99	1.0
投資信託財産総額	10,228	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年11月10日現在)

項目	当期末
(A)資産	10,228,027円
コール・ローン等	94,566
公社債(評価額)	10,129,600
未収利息	3,861
(B)負債	0
(C)純資産総額(A－B)	10,228,027
元本	9,994,224
次期繰越損益金	233,803
(D)受益権総口数	9,994,224口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,234円

〈 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) 〉

1. 期首元本額 9,994,224円
   期中追加設定元本額 －円
   期中一部解約元本額 －円
2. 期末元本の内訳
   スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) 9,964,333円
   スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) 10,659円
   スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジあり 9,616円
   スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジなし 9,616円

■ 損益の状況

当期 (自2019年11月12日 至2020年11月10日)

項目	当期
(A)配当等収益	9,968円
受取利息	9,973
支払利息	△ 5
(B)有価証券売買損益	△ 82,200
売買損	△ 82,200
(C)当期損益金(A＋B)	△ 72,232
(D)前期繰越損益金	306,035
(E)合計(C＋D)	233,803
次期繰越損益金(E)	233,803

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

■ お知らせ

該当事項はありません。